

## 会議録（案）

会議名	令和6年度(2024年度) 第6回 生涯学習審議会	
日時	令和7年(2025年) 2月13日(木) 午後6時30分～	
場所	東京たま未来メッセ5階502会議室及びオンライン会議	
出席者氏名	委員	<会場参加>石川智子委員、阿部寧子委員、薄井信一委員、三浦眞一委員、清水弘美委員、中嶋昭江委員、丹間康仁委員、金山滋美委員 <オンライン参加>小林万里子委員、大塚英生委員、市川利幸委員、炭谷晃男委員、野口武悟委員、山崎領太郎委員
	事務局	田島生涯学習政策課長、松井学習支援課長、大澤図書館企画調整担当課長、鈴木図書館分館担当課長、佐藤生涯学習政策課主査、村石図書館課主査、香月生涯学習政策課主任、須田図書館課主事
欠席者氏名	長谷川幸代委員、倉田放課後児童支援課長、堀内図書館課長	
議題	(1) 報告①八王子市生涯学習プラン策定について 報告②都市社連協関連報告事項について 報告③令和6年度(2024年度) 青少年海外交流事業の実施結果について 報告④令和6年度(2024年度) 「二十歳を祝う会」の実施結果について	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由		
傍聴人の数	なし	

<p>配 付 資 料 名</p>	<p>■報告資料①-1 八王子市生涯学習プラン策定について  報告資料①-2 八王子市生涯学習プランパブリックコメント実施結果一覧  報告資料①-3 八王子市生涯学習プラン（案）  報告資料①-4 八王子市生涯学習プラン概要版（案）  報告資料②都市社連協交流大会資料  報告資料③令和6年度（2024年度）青少年海外交流事業の実施結果について  報告資料④令和7年「二十歳を祝う会」の実施結果について</p> <p>■参考資料①第4回「本のPOPコンテスト」の実施結果について  参考資料②-1 令和6年度（2024年度）「図書館サービス満足度調査」の実施結果について  参考資料②-2 図書館サービスアンケート調査用紙  参考資料②-3 令和6年度（2024年度）図書館サービス満足度調査  【1】「重要度・満足度」結果（各館結果）  参考資料②-4 令和6年度（2024年度）図書館サービス満足度調査  【2】「アンケート」結果  参考資料②-5 令和6年度（2024年度）図書館サービス満足度調査  【3】「アンケート自由記述欄」結果  参考資料③令和6年度第5回会議録  参考資料④教育委員会定例会における関連事項について</p>
<p>会議の内容</p>	<p>（会長）只今から、令和6年度第6回生涯学習審議会を開催いたします。それでは、本日の出席委員を確認します。本日の出席委員は14名で、過半数を超えていますので、本日の審議会は、有効に成立することをご報告いたします。会議及び会議録の公開についてですが、「八王子市附属機関及び懇談会等に関する指針」に基づき、原則、公開となっておりますので、本日の会議につきましても、公開とします。傍聴の方がいらっしゃいましたら入室を許可しますが、本日、傍聴人の方はいらっしゃいません。では、次第に従い、2の「会議」に入ります。まず、（1）報告事項①八王子市生涯学習プラン策定についてです。これについて、事務局から説明をお願いします。</p> <p>（生涯学習政策課 佐藤主査）まず、報告趣旨についてです。第10回教育委員会定例会で協議しました、「八王子市生涯学習プラン(素案)」に基づき実施した、意見募集(パブリックコメント)の結果とともに、その内容と結果を反映させた新プランの原案についてご報告いたします。パブリックコメントの期間や対象、配布場所については、こちらに記載のとおりとなっております。25名の方から44件のご意見をいただきました。このうち、小学生が21件、中学生が17件となっております。いただいたご意見については、別紙1をご覧ください。ほかの計画同様、主な意見とそれに対する市の考え方を施策に応じて記載しております。いただいたご意見は、全体として様々な生</p>

涯学習への興味関心が多かったです。一部抜粋してご報告いたします。別紙1の、意見番号11番をご覧ください。「学校の部活動にやりたい種目がない場合は、地域のスポーツクラブ等の体験の機会が多くあると良い。」という意見がございました。こちらは、まさに教育委員会で進めている部活動改革の内容についてとなりますので、部活動改革が目指す方向性に基づき、子どもたちの活動機会を確保するため、地域団体等と連携して取組を進めていきたいと考えております。続いて、意見番号18番をご覧ください。「学び直しやリカレント教育等の充実」についてのご意見がございました。こちらは、今回の新プランでも力を入れている部分でもあり、学園都市としての本市の特性を活かし、関連所管と連携を図りながら、取組を進めてまいりたいと考えています。計画素案の主な意見については以上となります。今回いただいた意見を受け、計画案への大きな変更はございません。いただいたご意見は、今後の取組の参考とさせていただこうと考えております。また、別紙2の生涯学習プランの原案、こちらは、パブリックコメントのご意見を反映させたほか、写真やコラム、巻末資料、市長巻頭言の掲載、そのほか全体の文言調整などを行っています。別紙3は、別紙2のプランの概要版となっています。最後に、今後のスケジュールですが、パブリックコメントの実施結果を市ホームページで公開するとともに、プランの内容を確定させまして、3月の公表を予定しております。本件について、説明は以上です。

(会長) これは、教育委員会の方も通していただいているのですよね。

(生涯学習政策課長) 先日の教育委員会定例会で報告をさせていただきました。

(金山委員) 教育委員会定例会でご指摘はなかったですか。

(生涯学習政策課長) パブリックコメントについての表現のご指摘は少しいただいたのですが、プランの中身そのものについては、都度ご報告させていただいていたので、特にはございませんでした。

(丹間委員) 質問させていただきます。資料1-②パブリックコメントについて、小中学生からたくさん意見が届いていてとても良いことだと思いました。八王子市の他のパブリックコメントでも、小中学生から同様に声が届いているのでしょうか。

(生涯学習政策課 佐藤主査) 教育委員会の3つの計画、教育振興基本計画とこちらの生涯学習プラン、そしてスポーツに関する計画の改定がございまして、合わせて市内の小中学校に全校配布をさせていただきましたところ、3つの計画ともに、小中学校からたくさんご意見をいただくことができました。特に、教育振興基本計画につきましては、200名以上という非常に多くのご意見をいただきました。

(丹間委員) 市の考え方を回答するうえでも、そういった小学生や中学生に向けた表現を心掛けられているということですか。

(生涯学習政策課 佐藤主査) なるべくそうしたい部分もありつつ、パブリックコメントですので、あまり年齢を見せられないという部分もあります。寄りすぎない中で、ギリギリ寄り添う感じで作らせていただいております。

(丹間委員) 難しいなかで工夫をされたのですね。

(会長) 子どもさんたちがこれだけ興味を示して、しっかり読み込んで、意見を言ったり、質問したりしてくれるというのは素晴らしいことですね。これを契機にして、これからも続けていっていただければありがたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(石川委員) 用語解説が付いていて、とてもいいと思ったのですが、11 ページに出てくる「STEAM 教育」という用語について、できれば用語解説があった方がいいと思いました。

(生涯学習政策課 佐藤主査) 目次の3ページに、コラムで取り上げている用語については用語解説をしていない旨を記載させていただいております。STEAM 教育につきましては、37 ページにコラムとして説明を記載しております。

(石川委員) ありがとうございます。

(丹間委員) 今の点は「37 ページ参照」といった記載をすることは技術的に難しいですか。

(生涯学習政策課 佐藤主査) 検討いたします。

(小林委員) パブリックコメントの八王子市の考え方について、後半部分は「先生に相談してみてください」という回答が多いです。これは教師の裁量に任せられるということで、教師個人の資質によって、対応が異なってしまうことでもあるのでしょうかと思います。

(生涯学習政策課 佐藤主査) ご指摘いただいた部分につきまして、当課で答えが作れるものが少なく、先生方にご意見を作っていただいた部分もあります。そこにそのような表現が含まれている部分もありますので、ご意見を作っていただいた先生方にもご相談して検討したいと思います。

(小林委員) わかりました。

(金山委員) 今と同じなのですが、その中でも 35 番は先生に相談するものではないと思います。おそらく青少年対策地区委員会がやっている地域美化だと思うので、相談するなら地域の方なのでこれは不要かと思います。先生方、先生方と言われても、先生も困りますよね。

(中嶋委員) はい。基本的にクリーン活動は、地域が主体なので、地域の方が参加するものだと思っております。中学校とか小学校が、それぞれそこに参加しているという形です。

(清水委員) 10 ページの「SDGs との関係」というところなのですが、生涯学習プランなので、17 のゴールのうち 4 番の「質の高い教育」を選ばれたと思いますが、八王子の生涯学習プランのテーマが「つながり、学びあうまち」ということなので、SDGs の 17 の項目の一番軸になっているところが、17 番目のパートナーシップを組める、パートナーシップで乗り越えるというところなのです。パートナーシップというのは、人とつながって、一緒に何かをやっていくというところこそが、SDGs の軸だと思っているので、ここは 4 番ともう一つ、17 番目を添えることはできないかと思っております。

(生涯学習政策課 佐藤主査) 検討させていただきます。

(会長) 今の時点で、変更というのはなかなか難しいかもしれないですが、何年後に改定の時期は必ず来ますので、次回以降にまた活かしていただければと思います。

(丹間委員) 先ほど「先生に相談」という箇所では質問がありましたが、同じ資料の 26 番の宿題についてです。「先生や話しやすい大人に～」とありますが、「話しやすい大人」という表現にしたのは、意図的でしょうか。お家の人や家族ではないという意図で、あえてそうされているのかという質問が一つです。もう一つは意見ですが、「図書館」といった時には、一般的には市の公共図書館をイメージするかもしれませんが、校内には学校図書館もありますので、子どもたちにわかりやすいように表現していただければと思います。市の図書館を使ってみるきっかけになるとも思いましたので、表現について工夫していただきたいと思います。

(生涯学習政策課 佐藤主査) 「宿題を教えてほしい」は実はもう 1 件あります。ちょうど「社会を創る学びの推進」の「学校・家庭・地域で支える子どもの成長」という地域に関与した施策についていただいた意見でございまして、「話しやすい大人」というのは、ご家族や身近な方もいらっしゃると思いますが、地域の大人も含めてほしいという思いも込めまして、「話しやすい大人」という表現をここでは使わせていただきました。図書館に関しましても、学校図書館も含めて地域の図

書館を是非ご利用いただけたらと思ひまして、そういう表現にしてありますが、学校図書館もおっしゃる通りあると思ひますの、その点の表現も工夫してみたいと思ひます。

(会長) よろしくお願ひいたします。

(金山委員)パブリックコメントを反映した箇所を教へていただけませんか。

(生涯学習政策課 佐藤主査)パブリックコメントでいただいたご意見については、ほとんどが本編にすでに含まれているものです。反映できていないものが43番、44番のみです。あえて追記した箇所が3箇所ございます。11番、13番、14番につきまして、力を入れている取組ということもありまして、該当箇所に追記しております。

(会長) 今ご意見をいただいたことも、今後のテーマにしていただければ、大変ありがたいと思ひます。またパブリックコメントに関しては、多少文章の訂正等もできるでしょうから、みなさんにご指摘いただいた部分が分かるようにしていただければ大変ありがたいと思ひます。

(会長) 続きまして、(2)報告事項②都市社連協関連報告事項について事務局からご説明をお願ひいたします。

(生涯学習政策課 佐藤主査)報告事項②として、東京都市町村社会教育委員連絡協議会の活動についてご報告いたします。報告資料②をご覧ください。12/14(土)に町田市で行われました「令和6年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会」の報告になります。3部制となっております、第1部につきましては式典、第2部につきましては、今年度ブロック幹事市となりました、5市によるブロック研修会の報告になります。報告内容につきましては、説明を割愛させていただきますので、各自資料をご確認ください。第3部は研修会となっております、「生涯学習と学校教育の連携について」というテーマで、事例紹介及びパネルディスカッションが行われました。生涯学習審議会からは金山委員、事務局からは香月が参加いたしました。説明は以上です。

(会長) ご意見、ご質問等ございますか。参加された金山委員いかがですか。

(金山委員)最後の研修のところでいろいろな話を聞かせていただいたのですが、八王子でも同じようなことはやっていますので心配ないと思ひました。アイデアがいろいろあって参考になりました。

(会長) 他市のお話を伺うのはアイディア面の違いを感じられるので、聞かせていただきたくといい勉強になりますね。続きまして、(3)報告事項③令和6年度(2024年度)青少年海外交流事業の実施結果についてです。これについて、事務局から説明をお願いします。

(学習支援課長) それでは、令和6年度青少年海外交流事業の実施について、ご報告させていただきます。報告資料③をご覧ください。初めに、趣旨でございますけれども、市内在住の中学生を台湾高雄市の中学生との交流を図るために、派遣したものでございます。海外交流に意欲のある中学生に対して、日本と異なる文化を体験してもらって、国際的な視野を広げてもらって、将来海外でも活躍できる子どもを育成しようということが目的でございます。内容ですが、派遣日程は令和6年12月26日から29日までの3泊4日でございます。派遣先は昨年度に続き、台湾でございますが、今回は海外友好交流都市である台湾高雄市に加え、台湾の新幹線を使って台北に移動して、台北も見えております。派遣団については、広報はちおうじ、また市のホームページで公募しました。中学生16名、それから引率者となっております。派遣までの経過でございますけれども、英語やプレゼンテーションの研修を5回実施しております。5回目の研修ではオンラインで台湾の生徒と顔合わせを行って、自己紹介や質疑応答など、派遣前に交流を行いました。12月15日には市長、教育長を招いてクリエイトホールで結団式を行い、団員の士気を高めたところでございます。次のページに研修の様子の写真を載せておりますので、ご覧ください。第2回の研修、「TGG」と書いてあるのは、立川にあります「TOKYO GLOBAL GATEWAY」という施設です。これは外国のホテルの中だとか、病院だとか、そういうものを疑似体験できる施設です。むこうの職員は全て外国の方で、日本語を話さないシチュエーションで様々な研修を行うという施設でございます。今回の研修も台湾に行つて、中国語で話すのではなくて、あくまでも台湾の中学生の子どもと英語でコミュニケーションを全て取るという内容の研修を行っております。次のページになりまして、派遣内容でございますけれども、12月26日に出発しまして、翌12月27日に高雄市の右昌中学校と交流をしております。学校では歓迎セレモニーということで、龍神パフォーマンスというものを披露していただきました。また、八王子の中学生もそれに一緒に参加して、パフォーマンスを体験しました。午前中はその他、様々な授業を体験して、その後は複数のグループに分かれて、現地の中学校の図工や英語、音楽などの授業と一緒に混ざって受けるという形の交流をしております。また給食交流ということで、一緒に右昌中学校の中学生と給食を食べるということもやっております。午後は右昌中学校の生徒によるパフォーマンスを披露していただき、合唱やダンスなどを見学しました。その後、サッカー交流ですとか農場見学、学校内で野菜や果物の栽培をしている学校でしたので、そういうところを見学しております。最後に、八王子市の中学生による八王子市や日本文化の魅力を英語で紹介するプレゼンテーションを行っております。これは、八王子市の生徒が八王子の日本遺産や八王子の魅力、それから日本の文化を英語で高雄市の中学生に紹

介するといったようなものでございます。また日本の文化でもいろいろな遊びで、紙鉄砲やトントン相撲といったものを、日本から高雄市に持って行って、むこうの中学生と一緒に体験をしました。その後、高雄市の施設見学、美麗島駅や観光夜市を散策し、28日は高雄の歴史博物館や図書館、蓮池潭にある龍虎塔などを見学しております。28日に新幹線で台北市に移動して、最後12月29日に台北市の文化施設等を見学しております。最後にその交流の様子を載せております。以上が令和6年度の交流の報告になりますが、参考に最後のページに経緯として、これまでの八王子市で行った交流の経過を載せております。過去は主にスポーツ交流、それから図書館の読書感想文・感想画コンクールの上位入賞者を高雄市に派遣したりなどしてはりましたが、令和2年に公募による文化交流ということで事業見直しを行っております。その後、コロナで現地に行くことができず、オンライン交流をしてはりましたが、昨年度、令和5年度に現地派遣が叶いまして、今回それに続いて、事業見直しから2度目の交流ということになります。

(会長) これにつきましてご意見、ご質問等ございますか。

(薄井委員) 参加された学生さんの感想などは、どうでしたか。

(学習支援課長) 感想についてはアンケートを取っております。初めて、外国に行った子どもが結構多いものですから、やはり日本と文化の違いに驚いたということであるとか、なかなか英語で完全にコミュニケーションを取るの難しいことあるのですが、ボディランゲージでいろいろ伝えることができ、大変楽しかったという感想が多かったです。

(薄井委員) 英語だけのコミュニケーションでしょうけど、例えば簡単な挨拶を日本語はこうで、台湾の言葉はこうだと、そのような簡単な交流もあるといいのではないかと思います。

(学習支援課長) 日本の中学生も行く前に、中国語で簡単な挨拶をできるようにしています。例えば「こんにちは」、「ありがとうございます」、「おいしい」、「楽しい」といった言葉は事前に研修で学んでいます。

(薄井委員) ありがとうございます。

(丹間委員) 参加した生徒たちにとって、非常に深い学びになったことが伝わり、人生のなかでも本当に大きな経験になっていくと思います。実施に至るまで、大変丁寧に5回の研修をしていただいているのですが、一方で、今アンケートの話がありましたように、実施後のフォローアップとして、せっかく代表で16人の生徒たちが行って来てくれましたので、その子たち一人一人の中で、その学びが閉じず

に、波及して広がっていくといいと思います。この取組は、策定中の生涯学習プランでは基本施策 1 に位置づくので、個人の中での学びということでもいいのですが、それがゆくゆくはこのスパイラルアップのイメージ図のように、この台湾で交流してきた 16 人たちが、社会を創る学びにおける未来のリーダーになって、あるいは現時点でも学校の中でそういうリーダーシップを発揮できるといいと思います。そのあたり事後の部分で、何か取り組まれていることがあれば聞きたいです。

(学習支援課長) すべての子どもたちではないかもしれませんが、多くの子どもたちは、帰ってきたときに学校で発表してもらっています。また、成果発表会というものを予定しておりまして、令和 7 年度もやるので、また公募するのですが、来年行く子どもたちの前で、成果や去年の感想などを発表してもらう予定です。それから、これは昨年の例ですが、令和 6 年 4 月に台湾の花蓮で大きな地震があった時に、令和 5 年度に行った子どもたちが中心になって、募金を呼びかけて、それが市内全体の学校の募金の呼びかけにつながって、それを台湾に渡したという事例があります。また、今年度に八王子の日本遺産である高尾山で、外国人に対する英語での観光案内ボランティアをやりました。そこにも、それをきっかけに自分から手を挙げてボランティアに参加した子どもたちが何人かいらっしゃいました。

(丹間委員) ありがとうございます。そういった学びの広がり是非常に大事だと思います。引き続きよろしく願いいたします。

(清水委員) 私は、平成 25 年の読書感想文・感想画のときに台湾にご一緒させていただいて教員として引率しました。今回は 3 人、教員が行っていますよね。行った教員が見てきた子どもたち同士の関わり具合のようなものを、ただの感想文というよりは、成果発表会などで一緒に発表するようなことはありますか。

(学習支援課長) 特段に今のところ先生が何か発表するという事はしておりません。先生に主をお願いしているところというのが、事前の研修の時のプレゼンの資料や英語の発音とか、そういうところのフォローと、現地に行った時の生活指導のようなところですね。実際ただ現状行っている先生は、校長会の英語部会の校長先生から推薦していただいている、どちらかというと若手の先生をよく推薦してもらっています。その先生方の感想としては、自分の学校の子どもではない子もいろいろ一緒に行動することや外国でのいろいろな活動に対して、非常にいい経験になったというような言葉をもらっています。今おっしゃられたように、どこかでそういうものも、披露できるような場があるといいと思いましたので、検討したいと思います。

(清水委員) そうですね。子どもたちは行くだけで、体験そのものに非常に価値があります。でも、離れたところから見ていると、いろいろなことが見えます。こんなにも子どもというのはすぐつながるのだということも分かりました。子どもたち

は、行ったその日のうちにラインでつながって仲良くなっていたりします。英語は全然できないような子どもたちでも、コミュニケーションは十分取れることがはっきり分かりました。今はいろいろな手段で会話ができるので、英語に偏る必要がないと思います。無理に英語、英語と言わないで、とにかくもっとコミュニケーションをとるところで、今回のサッカー交流のような、一緒に楽しい時間を過ごせるような企画をこちらから持って行って、日本の遊びもトントン相撲とかというレベルではなくて、もう少し中学生らしい楽しみ方を披露できるのではないかと思います。参考にしていただけたらと思います。

(小林委員) 市内の生徒を公募ということですが、定員オーバーした場合は、抽選になるのでしょうか。どういった方法で、この生徒さんたちは選ばれているのでしょうか。

(学習支援課長) 今回の定員が 16 人に対しまして、応募があったのが 51 人でした。前は 83 人の応募がありましたが、今回はおそらく地震の影響で減って、51 人になりました。いずれにしろ定員オーバーしておりますが、選考をしています。一次選考と二次選考で、一次選考というのはエントリーシートで作文です。二次選考はグループ面接を実施して選抜していますので、抽選ではないです。

(小林委員) かなりしっかりと選抜しているのですね。わかりました。

(阿部委員) ちょうど今、中三の息子がいるのですが、親としてもこういう海外の交流はいいと思っています。今は選抜されているということですが、それだけ交流をしたいという子が多いということなので、行ける子は限られていると思いますが、それ以外に各学校で海外の人と交流できるような取組を取り入れていただけたら、選抜でもし行けなかったとしても、諦めることがなくなるのではと思います。あとは英語だけではなく、海外の言葉に興味を持つとか、日本人以外の方に興味を持つとか。八王子にもいろいろな国籍の方がいらっやると思うので、中学の時にそういうことに触れ合える機会があるといいと思います。

(会長) むこうから日本側に来るといった形の交流はありますか。

(学習支援課長) そうですね。我々がやっていることは、どちらかという、八王子の子どもに海外の文化を体験させるというのがメインなのですが、むこうの子どもたちが来るといった部分になると多文化交流という形になって、多文化共生推進課が実施しています。韓国からの子どもをホームステイさせるような事業をやっております。市の中でそういうことをやっているところはあります。

(会長) 台湾の高雄からもこちらへ来てもらうというような形のものがあって、初めて交流という言葉になるのだらうと思います。一方的にこちらから行くだけで

は、考え方としては片手落ちな部分があるかと思います。所管を超えてやっていたかなくてはいけないのかもしれないですが、ご検討いただければありがたいと思います。

(学習支援課長) 多文化共生推進課と情報共有して、市全体として行ったり来たりということができるかと思います。

(金山委員) 今の阿部委員のご意見ですが、学校によっては、留学生を呼んで、留学生と交流する体験をしてみたり、それからオンラインで現地とつないだりということができるようになったのでやっているのですが、オンラインは時差の問題があって、授業時間中に入らないということがあったりして、難しいのですが、そういうことをやっていますので、例えば、台湾のことはつなげるというようなことがあれば、学校もやりやすいかもしないです。

(阿部委員) ミドルスクールと交流はしています。そういう機会があるのはいいと思っていたのですが、全校がやっているのかわからなかったのです。

(中嶋委員) 全校ではないかとは思いますが、結構、各中学校でやっていると思います。別所中学校も都立大学の留学生と交流をしています。各学校で、もしかしたら違った企画があるかと思います。ただ、補助金などがないのでお金の出所がありません。

(阿部委員) せっかくこういう風にやっているのです、八王子市にいる子どもたちが、公平に体験ができるといいと思います。

(金山委員) そういう企画をしていただければと思います。

(会長) いろいろな角度から、いろいろな広がりを見せられる可能性がたくさんある事業だと思いますので、これからも検討して進めていただければと思います。よろしく願いいたします。

(会長) 続きまして、(3) 報告事項④令和6年度(2024年度)「二十歳を祝う会」の実施結果についてです。これについて、事務局から説明をお願いします。

(学習支援課長) それでは令和7年二十歳を祝う会の実施結果について報告いたします。資料④をご覧ください。内容ですが、日時は令和7年1月13日成人の日でございます。会場の収容人数の関係から2回に分けて開催しておりまして、第1回目は10時から、第2回目は12時半からそれぞれ1時間程度で内容は同じになっ

ております。また当日の様子は、現在 YouTube でも配信しております。八王子市の公式 YouTube チャンネルから視聴することが可能になっておりますので、ぜひご覧になっていただければと思います。会場は J:COM ホール八王子市民会館です。式典の内容でございますが、二十歳を祝う会実行委員長による開会の辞から始まり、都立片倉高等学校合唱部による国歌・市歌斉唱、これに続き主催者式辞、来賓祝辞というかたちになっております。続いて、本市出身のパリオリンピック大会柔道混合団体銀メダリストの高市未来さんからビデオメッセージをいただきました。続いて、小学校3、4年生からのお祝いメッセージの作品を動画で紹介しております。その後、アトラクションの部に移りまして、アトラクションでは、八王子学園八王子高等学校の吹奏楽部の祝いの演奏がございました。最後は実行委員による閉会の辞で終了となっております。次のページをご覧ください。参加者ですが、合計3,642名です。1回目が1,768名、2回目が1,874名でございました。表は過去5年間の推移です。一番下が今回の令和7年の内訳となります。対象が7,258名で3,642名の出席ということで、昨年と比べ、140名ほど増加して、出席率が前回の48.22%から、今回50.18%ということで、昨年よりも多くの若者に出席していただきました。続きまして3の実施体制ですが、公募で募った実行委員8名で、このうち5名が二十歳を迎えた方です。式典のスローガンやプログラムの作成を行ったほか、当日の司会進行などを行っていただきました。参考として、次のページに当日の様子の写真を掲載してございます。これらの様子を、繰り返しになりますが、YouTubeで配信しておりまして、今のところ1,000回以上観られておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

(会長) この件につきまして、ご意見、ご質問ございますか。参加された清水委員いかがでしたか。

(清水委員) 最初の挨拶、セレモニーのあたりは残念なことに、新二十歳の方々がざわざわしていました。私も学校で、学校行事を指導してきた立場として、もう少しきちんと指導しないといけなかったかと思いながら、見ていました。それでも八王子学園の吹奏楽部の演奏がかかると静かになって、会場から「おお、すごい。」とかいろいろな声が上がっていました。この8名の方が一生懸命工夫してくれた価値があったと思いました。テレビで見るような変わった格好をしているとか、特に荒れているという感じの人はいませんでした。そういう点では、落ち着いた式になったのではないかと思います。

(会長) ありがとうございます。他にご意見、ご質問ございますか。私も長いことずっと毎年出席させていただいているのですが、一時期から比べると、それでも二十歳の青年たちの騒ぎ方も随分おとなしくなりました。昔は本当に、途中で立ち上がって大きな声を出す人もいましたが、そういうことは一切なくなってきました。ただ、二十歳の方たちがずらっと座っているのに、生涯学習審議会委員の席には2人しかいなかったのも、寂しく思いました。もし次年度、またお話がございました

ら、生涯学習審議会委員の皆さんにもできるだけ大勢参加をしていただいて、お祝いをしてやっていただければ大変ありがたいと思いますので、お願いをさせていただきます。よろしくお願いいたします。

(薄井委員) 来年は出席しましょう。

(清水委員) 普通、入れないですからね。

(会長) 若い人たちの熱気と言いますか、息吹と言いますか、そういうものが肌で感じられる場というのは、なかなか我々の年齢になるとありませんので、ああいったところにお邪魔した時にこそ是非、感じていただければと思います。所作を見てみると、まだまだ日本の若者は捨てたものではないなと思うことが多々あります。そういったところもぜひ見ていただければありがたいと思います。よろしくお願いいたします。

(山崎委員) 二十歳を祝う会について、二十歳の人何かするということはないのですか。もちろんその公募した8名の方のなかに二十歳の方がいて、実行委員として裏方として頑張っているらしいんですが。式典の中で例えば、これから大人になるにあたって、といったことを発表するようなことはしていませんか。

(学習支援課長) 過去の成人式では、対象の方に心意気を発表してもらおうということがありましたが、現在はございません。

(山崎委員) わかりました。

(会長) あった方がよろしいというご意見ですか。

(山崎委員) 話だけ聞いていたら飽きてしまうと思うので、友達が出てくるだけでも盛り上がるかと思いました。

(学習支援課長) ありがとうございます。

(会長) 本日、予定していました案件は以上になりますが(3)その他として、何かございますか。

(会長) 特にないようですので、3の「その他」となります。事務局からお願いいたします。

	<p>(事務局) 次回の日程については未定です。あらためてご連絡いたしますのでよろしくお願いたします。</p> <p>(会長) 以上をもちまして本日の審議会は終了とさせていただきます。</p>
--	--